

〔第161回明専塾（トヨタグループ）〕 車を作る会社からモビリティ会社へ

工学部機械能工学科4年 柳本 匠



はじめに

平成30年10月26日、戸畑キャンパスにおいて第161回明専塾が開催されました。

今回は、トヨタグループのOBの方々に講演をしていただきました。現在、世界中でガソリン車から電気自動車への転換が進んでおり、それに対してどのように対応するのか、また色々な製品のIoTが進んでいる中、どのような車を目指すのか、さらにトヨタグループとしてではなくOBの方々は、この大変な時期をどのように考えられているのか、など気になる点が多々あり、今回の明専塾を以前から楽しみにしていました。

講演会

今回は、日野様・伊藤様・渡辺様・脇田様の4名の方に講演をしていただきました。トヨタグループの歴史、車種といった話からOBの方々がどのように仕事をされているかなど幅広いお話を伺うことができ、貴重な時間を過ごすことができました。

講演会の中で特に印象を受けたのは、100年に一度の大改革と言われるこの時期を私は大変だと考えていた一方、トヨタグループのOBの方々は、一番面白い時期と考えられていることです。ある方は、今は自分達の力で自動車業界を変えることができる時代とも言われ、目から鱗が落ちる思いでした。

また、その大改革として、車を作る会社からモビリティ会社を目指すと言われ、非常にスケールの大きい、そして今後の自動車業界の方向性を踏まえたお話を聞くことができ、とても参考になりました。

今後、色々な業界や企業を見ていく中で、現在の規模や方向性だけでなく、将来に対してどのようなイメージ図を作成しているのかまで考慮に入れて、行動していきたいと思っています。



講演会の様子

懇親会

懇親会では、立食形式で食事とお酒やソフトドリンクを飲食しながらOBの方々と懇談しました。講演会の緊張した雰囲気とは異なり、会話の弾む賑やかな懇親会となりました。講演会の中で気になった点や疑問に思った点を非常に気軽に尋ねることができ、どのようにお仕事をされて



懇親会の様子

おわりに

最後になりましたが、ご多忙の中、私達学生に講演をしていただいたOBの皆様、ならびにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会や教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

（平成30年11月記）

いるのかイメージすることができました。

今後は、自分の専攻や分野に問わず、少しでも興味がある業界や企業の明専塾が開催された際には、積極的に参加していきたいと思っています。